

(「一寸先は光です」)

校長だより

平成29年6月19日(月)

第7号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

教育実習生、ただ今、奮闘中!

教育実習期間中の本校教室から聞こえる活気溢れる声、生徒の耀く表情、見事な学び舎です。生徒の皆さんの熱気、学びの喜びを表す態度、挨拶等が実習生の「夢実現」に確実に繋がっているようです。

◆大会・コンクール等結果

- 男子水球部が県勢初の九州制覇!残り1秒の逆転劇で鹿児島南に8-7で勝利。玉川貴涼君(3-9)が最優秀選手に、砂邊利貴君(1-9)が優秀選手に選ばれました。全国制覇が見えてきたようです。ウズ!
- 図書館がまたまた、リニューアル。直木賞作家、阿部龍太郎の講演会の生徒の感想や、直木賞、芥川賞の由来が、コーナーとして耀いています。「ありのままに・・・」「幸せとは」等、生徒の感想文はさすがです!

○校内外の小さな変化・成果に気がついたでしょうか? 「チーム那覇西」は今も躍動しています!

- 1学期の学力テストで学級閉鎖!4月から現在まで1学期の学力テストが何と50名越え。先週には1クラスは学級閉鎖となりました。「うがい、手洗いの励行」「教室の換気徹底」、そんなこと「かんきない」はないでしょ。九州、全国を控えている選手も多く、又、期末テスト等これからが大切な時期、よくよく考えて!!
- 8日(木)の2,3年進路がバタバタお疲れ様でした。話を聞く態度、真剣な態度、業者からの評判上々でした。各大学とも必死の学生確保に走っていると思います。校長としては、多くの大学、情報から自分の適性にあった、かつ本物を見つける力を是非つけてほしいと思います。
- ボクシング部連日、美術室前で猛練習中です。長濱志保先生曰く「ただ今、部員をスカウト中です。」校長はそれに応えて、「何言ってるの。ボクシング部なんだから、部員、トランクス中じゃないの」ウグ!
- 10日早朝練習前の女子サッカー部に向けて「今度負けたら、全員水泳部はいかが?」と優しく勧誘したところ一斉に「いいえ、女子サッカー部やめませんよ」と激しいブーイング!「仕方ない。水に流そう」
- 10日に男女バスケボール部が体育館で練習。館内を見わたすと男子部員の中にリックを背負った見慣れない小さな選手が、「もしかして不審者か・・・」と近づいてみると何とエリカ先生。道理で最近の男子部員の挨拶が大きな声に変わったのですね。「E先生笑顔が大きな変化をもたらせています」

◆◆◆◆◆◆◆ 高校総体終了!これまで積み上げてきたものは何? ◆◆◆◆◆◆◆

那覇西初のオリンピック、WHO?

那覇西高校3期生で現サッカー部顧問の平安山良太先生と同級生でもある吉本久也さん(現東村勤務)は、本校初のオリンピックです。その当時は、昭和62年全国インターハイにおける大村美香選手の走り高跳び優勝、昭和63年度第43回国民体育大会西口洋子選手ビームライフル優勝、平成2年田場昭一郎選手(水泳競技)の東南アジア日本代表、平成2年度第45回国民体育大会友寄隆康選手のレスリング74kg級優勝、平成3年度第46回国民体育大会仲本正樹エアリアル立射優勝、吉本久也重量挙げ優勝等と毎年のように全国制覇が実現。吉本選手は168cmの身長しかありませんでしたが(体重は110kg)、ジャンプしてバスケドリフトに両手でぶら下がるほどのジャンプ力を有しておりました。元々は陸上の選手で、投擲が専門でした。しかし、冬季トレーニング中、奥武山のジムで偶然、職員の平良朝治氏に出会い、その非凡な能力を見いだされて転向。その後、国体優勝、日本代表としてフィリピン、アラバカロンに出場するまでの大選手になったのです。3年間彼を見てきましたが、身体能力の高さは群を抜いていましたが、何より、彼の素直さ、純朴さは素晴らしいものがありました。常に謙虚で、日本代表になってもおごることなく、その姿勢はいつも輝きを放ち、今でも変わっていません。競技スポーツで磨かれた人間性豊かな、吉本選手のような人間が一人でも多く那覇西から巣立ってほしいと私は心から願っています。第2のオリンピックは・・・「君だ!!」アバ!